

大豊村長 三谷泉水

の生活水準が向上されなければなりません。この為村として合併以来本村における産業構造体質改善の為に努力を傾倒して参りましたが更にこの度の農業基本法の公布及び近く予想される関連法の施行を契機として村造り第二の段階に力強く第一歩を印したいと存じ只

節減の効果等一般会計において六百二十五万円国民健康保険事業会計で二百八十七万四千円簡易水道事業会計で十二万四千円と何れも黒字を生じ昭和三十六年を最終年度とする本村財政再建計画遂行への自信と本村の財政再建への明るい見通しをうるに至った事は楚に

ここで第一表の収入についてみることに致します。

まず村税は村二千二百四十五万八千円で村才入の二八・二兆を占め首位にたつて居り、村行財政運営における村税の地位を如実に物語つて居ります。

つぎの地方交付税も三千二百三十九万四千円で二・

目別支出内訳表を御覧下さい。

それではつぎに第三表の支出の分類別内訳表についてみることにします。

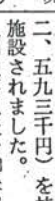
この表は歳出を性質別に分類してその支出割合や財政構成をみたものですが、矢張り本村の場合には産業構造基盤の確立、小中学校整

第五表は村有財産の状況を示したものであります。

山林五百六十四町六反のうちすでに植林を完了したものが官行造林、県内造林を含めて三百六十五町昭和三十六年度による三年計画で県行造林により着手するのがさきに国より松下手を受けた磯谷山、直営で昭和

二、五九三(三)村国県補助金(二、五九三)を持って施設されました。

(別表第八表を御参照下さい。)



第 1 表 1. 収 入 及 支 出 の 状 況

(B) 支出

費 目	区 分	予 算 額	支出済額	総額に対する支出歩合 %	支出済額に対する住民1人当の額 (円)
1. 議 会	費	3.110	3.109	2.1	151
2. 役 場	費	24.379	24.204	16.8	1,178
3. 消 防	費	3.002	2.573	1.8	125
4. 土 木	費	7.241	6.721	4.6	327
5. 教 育	費	31.852	30.675	21.2	1,492
6. 社 会 及 勞 働 施 設	費	8.426	8.054	5.6	392
7. 保 健 衛 生	費	2.197	2.116	1.5	103
8. 産 業 経 済	費	17.407	16.697	11.6	812
9. 財 産 費	費	1.405	1.316	0.9	64
10. 統 計 調 査	費	424	416	0.3	20
11. 選 挙 費	費	759	748	0.5	36
12. 公 債 費	費	12.315	12.161	8.4	592
13. 諸 支 出 金		36.115	35.688	24.7	1,736
14. 予 備 費	費	300	0	0	0
合 計		148.932	144.478	100.0	7,028

(1) 村 税

(2) 地方交付税

(3) 財產收入

(4) 使用料、手数料

(6) 県支出金

(8) 寄 附 金

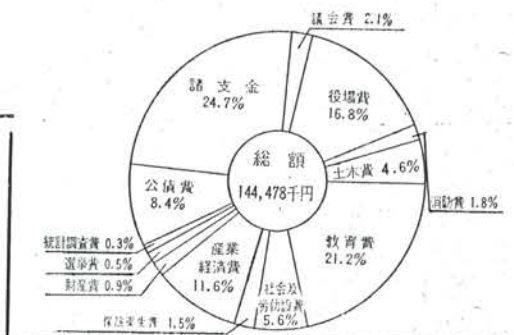
(9) 村 債

(5) 国庫支出金

(7) 雜 收 入

総額 150,728千円

項目	割合
村税	28.2%
村債	4.8%
雑収入	7.23.6%
繰越金	1.7%
繰入金	1.5%
繰入金	1.8%
使用料及手数料	1.6%
収入	5.0%
支出	4.3%
財産収入	6.0%
地方交付税	21.5%



1 議 会

2 役 場

3 消防

4 土 木

5 教 育

6 社会及労働

14 予	備	費	300	0	0
予	備	費	300	0	0
合		計	148.932	144.478	97.0

4 第3表 支出の分類別財源内訳表

区	分	才出の 支出額	住民1 人当り の額	国庫 支出金	県 支出金	財 源 内 訳	一般財源 の構成費	一般財源 の構成費
1	人	30,052	1,674	1,809	478	905	26,860	31.4%
(1)	員	2,910	160					
(2)	員	1,553	85					
(3)	員	21,852	1,199					
(4)	員	3,737	230					
2	件	25,011	1,371	3,148	1,003	1,829	18,843	22.1
3	持	2,188	120	33	5	133	1,668	1.9
4	助	1,022	56	97			925	1.1
5	助	7,293	400		198		6,740	7.8
6	通	33,708	1,849	1,550	4,652	1,625	16,976	19.8
(1)	事	24,153	1,324	1,550	4,652	729	9,417	11.0
(2)	業	7,500	411			896	5,804	6.4
(3)	業	2,055	114				2,055	2.4
7	害	1,117	61	529			588	0.7
(1)	復	832	46	529			303	0.4
(2)	立	285	15				285	0.3
8	債	12,151	667	442			11,709	13.7
9	立	29,910	1,641				29,910	
10	付	9	—				9	
11	費	2,017	110			752	1,265	1.5
合	計	144,478	7,949	7,608	6,336	2,867	85,574	100.0



第4表 公債費の目的別現在高調 (一般会計)

区	分	昭和34年度末現債高(A)	昭和35年度許可額(B)	昭和35年度元利支払額 元金(C) 利 子 計	差引現在額 (A)+(B)-(C)
1	普	27,431	4,300	1,457 1,593 3,050	30,274
(1)	教	19,055	3,300	943 1,127 2,070	21,412
(2)	上	2,000		89 89	2,000
(3)	所	6,376	1,000	514 377 891	6,862
2	災	9,360	3,000	732 761 1,493	11,628
(1)	土	3,073		172 191 363	2,901
(2)	土	6,287	3,000	560 570 1,130	8,727
3	政	16,990	1,440	6,527 1,205 7,732	11,903
(1)	財	13,160		6,346 849 7,195	6,814
(2)	林	2,813	1,440	111 291 402	4,142
(3)	農	1,017		70 65 135	947
合	計	53,781	8,740	8,716 3,559 12,275	53,805

第5表 村有財産の状況

(1) 土地

区	分	反	別	摘	要
宅	地	3,755.86坪	公共施設敷地		
畑	林	12,013反	公共施設敷地及び実習田		
山	林	85,213	"		
		5,646.429	うち植林ずみ365町2反		

(2) 建物

区	分	坪	数	摘	要
建	物	7,492.74坪			

(3) 金員

区	分	金額	摘	要
積	立	31,421	財政積立金	
出	立	240		
貸	付	9		
計	計	31,670		

第6表 昭和35年度に実施した主たる事業及財源内訳

事業名	事業費	財源内訳	一般財源
1 普通建設事業	35,896	国庫 1,550 県 4,652 支 7,300 起債 1,625 寄附金 1,605 その他 19,164	19,164
(1) 補助事業	24,153	国庫 1,550 県 4,652 支 6,300 起債 729 寄附金 1,505 その他 9,417	9,417
(2) 危険校舎改築工事	1,764	県 422 支 930	442
(3) 中学校統合整備事業	5,046	県 988 支 2,400	1,658
(4) 耕地整理事業	2,364	支 271 75	2,018
(5) 林道事業	2,373	支 730 654 105	884
(6) 新農村特別助成事業	5,811	支 3,151	2,660
(7) 消防施設整備事業	630	支 140	490
(8) 公民館建設事業	6,165	支 500 3,000	1,265
(9) 村道新設改良工事	9,688	支 896	7,692
(10) 村道新設改良工事	2,258	支 396	1,862
(11) 小中学校整備事業	1,957	支 1,957	1,957
(12) 小中学校整備事業	1,250	支 1,250	1,250
(13) 忠霊塔建設工事	1,043	支 500	543
(14) 農道	878		878
合 計	37,013	2,079 4,652 7,300 1,625 1,605	19,752

(注) 本表では維持修繕費を単納事業分に含めて計算した。

第7表 昭和35年度国民健康保険事業会計の決算の状況

収入及支出の状況

款	項	予算額	決算額	収入割合	被保険者 1人当額(円)
保	用	8,485	9,556	46.6	667
使	料	203	144	0.7	10
庫	支	9,117	9,673	47.2	675
支	出	100	0		
収	入	1,066	1,294	0.9	14
越	金	876	942	4.6	66
計		19,847	20,509(A)	100.0	1,432

款	項	予算額	決算額	支出割合	被保険者 1人当額(円)
役	費	2,109	1,890	10.7	132
保	所	15,284	14,769	83.7	1,031
險	給	104	64	0.4	4
給	施	60	24	0.2	2
付	普	500	500	2.8	34
設	及	50	0		
支	出	1,438	388	2.2	27
備	計	302			
計		19,847	17,635 (B)	100.0	1,230

差引 (A)-(B)=2,374

第8表 昭和35年度簡易水道事業会計の決算状況

収入及支出の状況

款	項	予算額	決算額	収入割合	給水人口 1人当額
国	庫	2,026	1,934	22.9	2,410
庫	支	567	580	6.9	730
支	入	2,059	2,017	23.9	2,521
入	金	3,800	3,900	46.3	4,875
計		8,452	8,431(A)	100.0	10,536

款	項	予算額	決算額	支出割合	給水人口 1人当額
布	設	8,452	8,327	100.0	10,409
計		8,452(B)	8,327	100.0	10,409

差引 (A)-(B)=124

簡易水道など
十九件を可決

温度計も室内で三十二、三度を示し、酷暑にうだりながらも慎重審議を行い、選挙管理委員会、委員の改

自7月14日—至7月24日

- 村簡易水道事業才入才出追加更正予算決定に関する議案（別記）
- 村税減免に関する議案昭和三十六年度村税の減税について（大豊村西土居、尾立儀嘉）
- 大豊村職員定数条例の一部を改正する条例議案（別紙）
- 大豊村税賦課徴収条例の一部を改正する条例議案損失補償契約の締結に関する予算外義務負担議案（別記）
- 村道廃止に関する議案
- 下、路線名八畝起点林道川又線立野分岐点

- 業起債及び起債方法、利率の定率並びに償還方法に関する議案
- ◇大 村立川口小学校校舎改築工事施行議案
 - 一、工事の名称、(川口小学校舎改築工事)
 - 二、建築の位置、大豊村川口ヒラヤ、現校地内
 - 三、構造の概要、木造平屋建スレート葺、棟、一四八・二五坪
 - 四、工事費、(五、三五〇〇〇〇円)
- ◇大 村立川口小学校校舎建築委員会設置条例議案
- ◇財政再建計画の一部改正議案
- ◇土地審判採納に関する議案

中員(平均) 一・〇半

◇林道開設工事施行議案
一、路線名 山村振興林道、年平緑

二、施行金額、五、五〇〇、〇〇〇円

◇財政再建補正金の繰入処分議案(別記)

◇昭和三十六年度大豊村馬瀬簡易水道工事施行議案
工事の名称、馬瀬簡易水道、工事費、二四九、八〇〇円

◇工事施行地区(馬瀬)

◇昭和三十六年度大豊村、杉高須簡易水道工事施行議案

工事の名称(杉、高須簡易水道)

工事費(一、五七六、〇〇〇円)

◇工事施行地区(杉高須)

◇簡易水道事業費継続議案(別紙)

◇昭和三十六年度簡易水道

校改築
 高須の
 水道など
 件を可決
 終点八畝カシゲ谷
 延長三、〇五一・五
 巾員二・〇米
 二、路 名手野
 起点、戸手野字芝田上
 〇八番地
 終点、戸手野字ノギノ
 サコ
 延長、一、七四一・五
 米。

四月頃、甘いミカンが水臭くなつて腐つてしまつた後程味が出る。品が少なければ価格が良いのがあたりまへで水は低い処へ流れて行くが、物品は高い処へゴンゴン流れて行くのは自然の法則で、昔しも今も変りない。

新改平山のミカンが四キロ当り、二三〇円もの高値で販売しているのは、彼らが養子

大豊村農業改良普及所 立花資民

る。昨年の寒さは
測候所の調査では
大正七年以来と云
われる。山田方面
の平坦地のミカン
は大変な寒害を受
けて枯死寸前の状
況である。

(平坦部は急激
な低温のための被
害が多いが大豊で
は平均気温が低く
とも極端な低温が
ない、本村、が適
地と云うゆえんで
ある)

ミカンの気持は良くわかる。ミカンの出来る部落はミカンは桃、柿、栗をそれ以外の所産地に作り上げようではないか。だがまてよ、ミカンは生きた木である。虫もつく病気もある、寒さに限度がある。植えたばかりで育てなければお金は取れない。人のおとしでへこたれる様では、始から果樹は作らぬが良し。

或人は云う、ミカンは三年の辛穠がある。それさえ出来る人なら成功は断じて疑はない。重ねて云う、ミカンは辛穠である。

大豊村商工会は先の総会で決定した通り商品の計算を整理のため月一回の定休を実施することとし、その期日は各地区内協議の結果、落合及東部地区は毎月の第一日曜日、その他の地区は第三日曜日と決定した。

線路に落石
緊急連絡で列車事故防止
三人の
御協力に感謝

皆様も御承知の如く、土間の御通以来至る所まで、
 線でも難所は小歩危、豊のお方が、順々にリレー
 豊永線路班 森下 賀鹿

農場での仕事

サンフランシスコを四
は二時にバスにのり、八
間ばかりしてサラタマリ
に夜の十時に着いた、そ
には農場主と先輩が一人

派米農業勞務者より便り

心にしな

だ。その時、この講習に於て教師や先
 米国人の語では米國で
 農業労働では他人より仕
 のおそれものは監督から
 仕事には回してくれず常
 するさい仕事ばかりさせ
 れる、最初が大切である
 を聞かされて居りまして
 したた無我夢中でやりま
 した、最初の一月間はど
 えんどのように行ったも
 ちまつたよく見当がつかず
 とも思ひ出せませんが、一
 月近く草取をし四月の初
 ライチゴ取りが始められ
 シコ年約一五〇人と一
 仕事をすることになり、渡
 スペイン語をよく話し

にも慰いゝるさい仁鮮にも
 命が決定と言っても過言で
 はないと思います、人間は
 生れつき仕事の早いもの
 居れば遅い者もありますが
 かく一分も一秒も怠ること
 なく常に自分の全能力を百
 パーセント發揮し監督なし
 でも常に一生懸命やり農場
 主の信用を得る事が大きな
 成功のポイントであるよう
 です。(以下次号)

